

選手の皆さんの活躍に大きな拍手を贈ります

中体連で全道ベスト12

南富良野中学校バレーボール部



トを落とし、セット

に大きな拍手を贈ります。

中体連上川支庁管内代表決定バレーボール大会で初優勝し、全道大会出場権を獲得した南富良野中学校バレーボール部が、7月31日から留萌市で開催された、中体連全道大会に出場しました。

大会には、全道各支庁管内の代表決定戦を勝ち抜いた18チームが出場。試合は、6ブロック各3チームで予選リーグを行い、上位2チームが決

数0対2（20対25、17対25）で惜しくも敗れました。予選リーグは一勝一敗となりましたが、南富中は、無事に予選を通過し、決勝トーナメントへ進出しました。決勝トーナメント1回戦では、平均身長差8センチの函館亀田中学校と対戦し、相手の高さに翻弄され、12対25で1セット目を落としました。続く2セット目も序盤から相手にリードを許す苦しい展開でしたが、レシーブで自分達のリズムをつかみ始めると、じりじりと得点差をつめていき、相手のミスを誘う場面もありましたが、19対25で惜しくも敗れました。

十勝支庁管内の代表校で今大会準優勝の豊頃中学校と対戦しました。強豪校との対戦でしたが、序盤から相手の攻撃をしのぎながら、攻撃的な試合をし、中盤までお互いに一歩も譲らないゲーム展開となりましたが、あと一歩のところまでセット

目標としていた全道ベスト4には届きませんでした。これまでのつらい練習を乗り越えて、全道ベスト12という活躍を成し遂げた選手の皆さんに大きな拍手を贈ります。

全道大会初勝利

幾寅タイガース（幾寅野球スポーツ少年団）



す。

第35回全道少年野球大会が8月4日から札幌市で開催され、富良野支部代表として幾寅タイガースが出場しました。大会には、全道各支部を勝ち抜いた26チームが出場し、トーナメントによる熱い戦いが繰り広げられました。1回戦は、中標津支部代表の羅臼春松イーグルスとの対

戦。打線が奮起し、エース大友星矢投手（6年）が相手打線をノーヒットに抑える好投を見せ、16対2（5回コールド）で、見事に全道初勝利を飾りました。全道での初試合がドーム球場ということで、選手達は緊張していましたが、随所に伸び伸びとしたプレーを見せていました。続く2回戦では、今大会で優勝した札幌支部代表の東16丁目フリッツパズと対戦し、終盤6回まで4対2とリードされながらも粘り強い試合を見せてくれましたが、最終回に9点を献上し、2対13で敗れました。

選手の中には、全道大会での1勝に大きな自身を持ち、帰町後は、炎天下の中、次の試合に向けて一層元気に練習に取り組んでおり、今後の試合での活躍も期待されています。